

関西支部シニア会活動報告

行事名	2024 年度 (第 18 回) シニア会と学生会の交流会
開催日時	2024 年 10 月 19 日 (土) 14 時 30 分から 18 時 30 分
場所	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス B4 棟 東 K401 講義室ほか
参加人数	55 名 (シニア会 7 名、学生 43 名、教員ほか 5 名)
行程	<p>今回の交流会は、「シニア会と学生会との討論会～カーボンニュートラルに貢献する機械工学～」とのテーマを掲げて開催。</p> <p>久保司郎シニア会会長の開会挨拶に続いてシニア会会員の明橋武博氏の基調講演「ガス業界から見たカーボンニュートラルの方向性」とシニア会会員 3 名 (森脇一郎氏、高岡大造氏、梶川悟氏) による自己紹介を兼ねた提言があった。学生会からは中島卓哉君 (大阪産業大学)、服部世名君 (大阪大学)、仁木完君 (関西大学) の提言があった。</p> <p>休憩を挟んで 4 グループに分かれてグループ別自由討論会と懇談会 (弁当付き) が行われ、総括として、各グループの代表学生諸君から討論内容の報告があった。最後に学生会幹事長の新谷篤彦先生による締めの挨拶と記念撮影があり閉会した。</p>
感想	<p>基調講演では明橋氏から、世界および日本のエネルギー需要の状況、カーボンニュートラルへの方向性として太陽光・風力などの再生可能エネルギー、カーボンフリー燃料による火力発電、電化・水素利用等が紹介された。ガス業界では石油・石炭、天然ガスに代わる燃料として e-メタンの社会実装に注目しており、2030 年からの導管注入を計画している。</p> <p>シニア会員の自己紹介・提言では、ビジネス論理が優先する社会において機械工学の王道を行くための心構え (森脇氏)、分からないことが満ちている世の中で興味を持って行動するうえでの指針 (高岡氏)、地球環境危機に貢献できた仕事の経験 (梶川氏) が述べられた。</p> <p>グループ別討論会では自由な雰囲気の中で食事をとりながら意見交換が行われた。学生からの提言、①行き詰まったり失敗した際にどうすればまた前に進めるか、②人生の岐路における選択・意思決定の判断軸とその決断を振り返ってどう思うか、③社会人になって働く中で一番印象に残っている経験、を中心に意見交換が行われ、シニア会員からの経験談に基づいて活発な討論が行われた。</p>

基調講演の様子



集合写真

